








## XH401-4

### Dクラス 4チャンネルパワーアンプ 取扱説明書

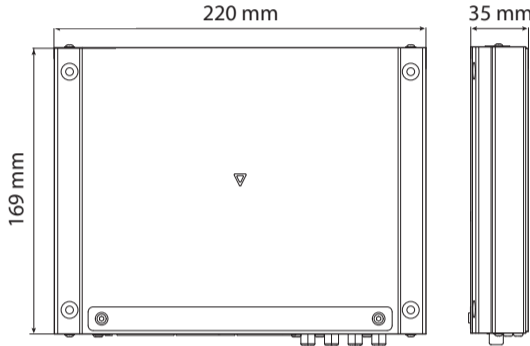
お買い上げいただきましたありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書を大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

#### ■ 付属品

①	 タッピングねじ	4	④	 リモコン	1	⑥	 ワッシャー	1
②	 六角レンチ	1		 リモコンケーブル (6m)	1	⑦	 ナット	1
③	 六角レンチ	1	⑤					

#### ■ 寸法図



My-Kenwood (ユーザー登録) のご案内	
お買い上げいただきました商品を「登録」していただく、ご使用いただける商品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。下記ウェブサイトで会員登録約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。 <a href="https://jp.my-kenwood.com">https://jp.my-kenwood.com</a>	

© 2017 JVC KENWOOD Corporation

B5A-2352-00/00 (JV)

## 使用上のご注意

#### 電源について

本機の電源はDC12V・マイナス接地となっています。これ以外の電源には接続しないでください。

●  
本機の電源は、バッテリーから直接電源を取ってください。車両の電源ハーネスに接続するとヒューズ切れなどの原因となります。

#### バッテリー上がりを防ぐため

エンジンをかけないで、ACC ONの位置にして本機を使用しますと、バッテリーが消耗します。エンジンをかけてからご使用ください。

#### システムを接続するときは

組み合わせるシステムに合わせて本機の入力感度調整つまみ (INPUT SENSITIVITY) を調整してください。

●  
JVCケンウッド製以外のシステムに接続すると電源のオン/オフができないことがあります。正常に動作することを確認してください。

#### RCA ケーブルについて

RCAケーブル (別売品) の配線は、雑音発生源となる車両側電装品やハーネスなどの近くは避けて配線してください。  
雑音が気になるときは2重シールドのRCAケーブルをご使用ください。

#### ヒューズが切れたときは

ヒューズが切れたときは、各コードがショートしていないことを確認して、もとのヒューズと同じ容量の新しいヒューズと交換してください。(30A) 指定以上の容量のヒューズを使用すると、火災などの事故につながりますのでご注意ください。

#### 本機のお手入れについて

本機の表面・パネルが汚れたときは、シリコンクロスが柔らかい布でからぶきしてください。固い布やシンナー、アルコールなど揮発性のものご拭きますと、傷がついたり文字が消えたりすることがありますのでご注意ください。

#### 本機の異常にお気づきのときは

万一セットの異常にお気づきのときは、本機の配線を外し、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

#### 本機をご使用中は

本機の使用中はセット表面温度が高くなり、不用意に触ると火傷をすることもありますのでご注意ください。


●  
ショートなどの事故を防ぐため、本機の内部に金属片や水が入らないようご注意ください。

#### プロテクション機能

本機には、様々なトラブルから本機やスピーカーを守るため、プロテクション機能が搭載されています。プロテクションが働くと、パワーインジケータが消灯します。  
以下のときプロテクション機能が働きます。

- ・スピーカーコードがショートしたとき。
- ・スピーカー出力が車両のアースと接触したとき。
- ・本機が故障し、スピーカー出力に直流電圧が発生したとき。
- ・内部温度が高温のとき。

## 安全上のご注意

 <h3>警告</h3>
<p>製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。</p>

絵表示について：  
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいるるな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。


### 警告


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


#### 絵表示の例

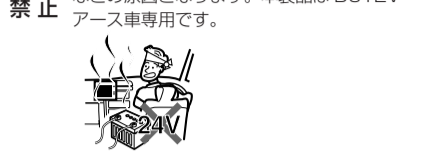
 **注意**  
△記号は注意 (警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。


 **禁止**  
⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。

 **実施**  
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。


お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

 <h3>警告</h3>
<p>大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V・アース車専用です。</p>




 **実施**  
配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故により感電やケガの原因となります。




 **実施**  
本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。




 **禁止**  
コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。




 **禁止**  
本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。




 <h3>禁止</h3>
<p>車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。</p>




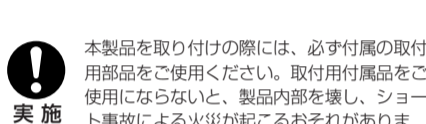
 **実施**  
車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。




 **注意**  
車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



 **禁止**  
アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。




 **実施**  
本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用しないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



## 接続

#### ■ 接続手順


 **実施**  
初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。



バッテリーのマイナス端子を外すと、車に装着しているコンピューターのメモリーが消えたり、車両 (外国車など) の電装系に不具合が発生する場合があります。詳しくはカーディーラーにお問い合わせください。

使用方法に合わせた接続や各スイッチの設定がありますので、取扱説明書をよく読み、正しい接続や設定を行ってください。接続や設定が間違っていると、ノイズや音の出ない原因になります。


- 1.使用方法に合わせて各スイッチの設定をします。
- 2.天面カバーを外します。
- 3.センターユニットなどへの入・出力ケーブルを接続します。
- 4.スピーカーコードを接続します。
- 5.電源コード、パワーコントロールコード、アースコードを接続します。
- 6.各ユニットを車に取り付けます。
- 7.天面カバーを取り付けます。
- 8.バッテリーのマイナス端子を接続します。
- 9.電源を入れ、正常に音が出ることを確認します。


 **実施**  

- ・正常に音が出ない場合は、すぐに電源を切り、接続を確認してください。
- ・各スイッチの設定を替えるときは、電源をオフにしてから行ってください。
- ・ヒューズが切れたときはコード類がショートしていないか確認後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- ・接続しないコードや端子はショート事故を防ぐため、テープなどを巻いて絶縁処理を行ってください。
- ・スピーカーコードはそれぞれに対応するスピーカー端子に、別々に接続してください。スピーカーのマイナスコードを共通にしたり、車の金属部分に接続するとユニットの故障の原因になります。
- ・取り付け終了後、車のブレーキランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。


#### ■ 電源コードの配線について


- ・電源コードは、別売品の電源チューニングケーブルを使用しバッテリーから直接接続してください。車両側のバッテリーコードに接続すると車両のヒューズが切れる原因になります。
- ・エンジンをかけて「ヒューズ」という雑音が発生するときは、別売品のラインノイズフィルターを電源コード間に接続してください。
- ・グロメットを使用して、コードが板金のエッジに接触しないようにしてください。
- ・アースコードはバッテリーのマイナスと通電している車両の金属部分に接続してください。アースコードが確実に接続されていないときは、電源が入りません。
- ・電源コードには、バッテリーの近くに保護用のヒューズを必ず取り付けてください。保護用ヒューズの容量は、本機のヒューズ容量と同じか若干大きい容量を使用してください。
- ・電源コードやアースコードは、車載用 (難燃性) の電源配線コードを使用してください。(電源配線コードは断面積 14 mm<sup>2</sup> (AWG 6) から 21 mm<sup>2</sup> (AWG 4) を使用してください。)
- ・パワーアンプを複数使用する場合は、電源配線コードや保護用ヒューズの電流容量が各アンプの最大消費電流の合計電流より大きいものを使用してください。


 <h3>禁止</h3>
<p>本製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。</p>

 **実施**  
修理は必ずお買い上げの販売店または、JVCケンウッド・サービスにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。


## 注意


 **実施**  
本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店>にご依頼ください。

 **禁止**  
本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

 **禁止**  
パワーアンプの使用中は、表面の放熱部分に触れないでください。



 **実施**  
本製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

 **禁止**  
本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

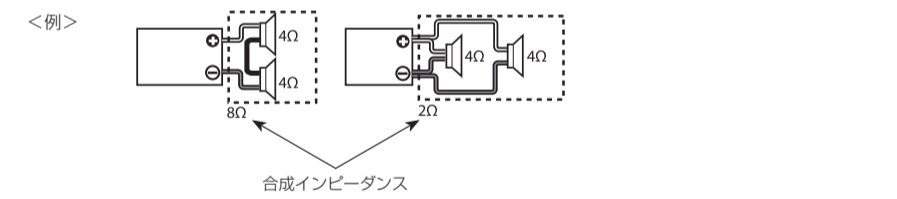
 **禁止**  
以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。


- 音が出ない
  - 異物が入った
  - 水がかかった
  - 煙が出る
  - 変な匂いがする
-  **実施**  
運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



#### ■ 接続するスピーカーについて

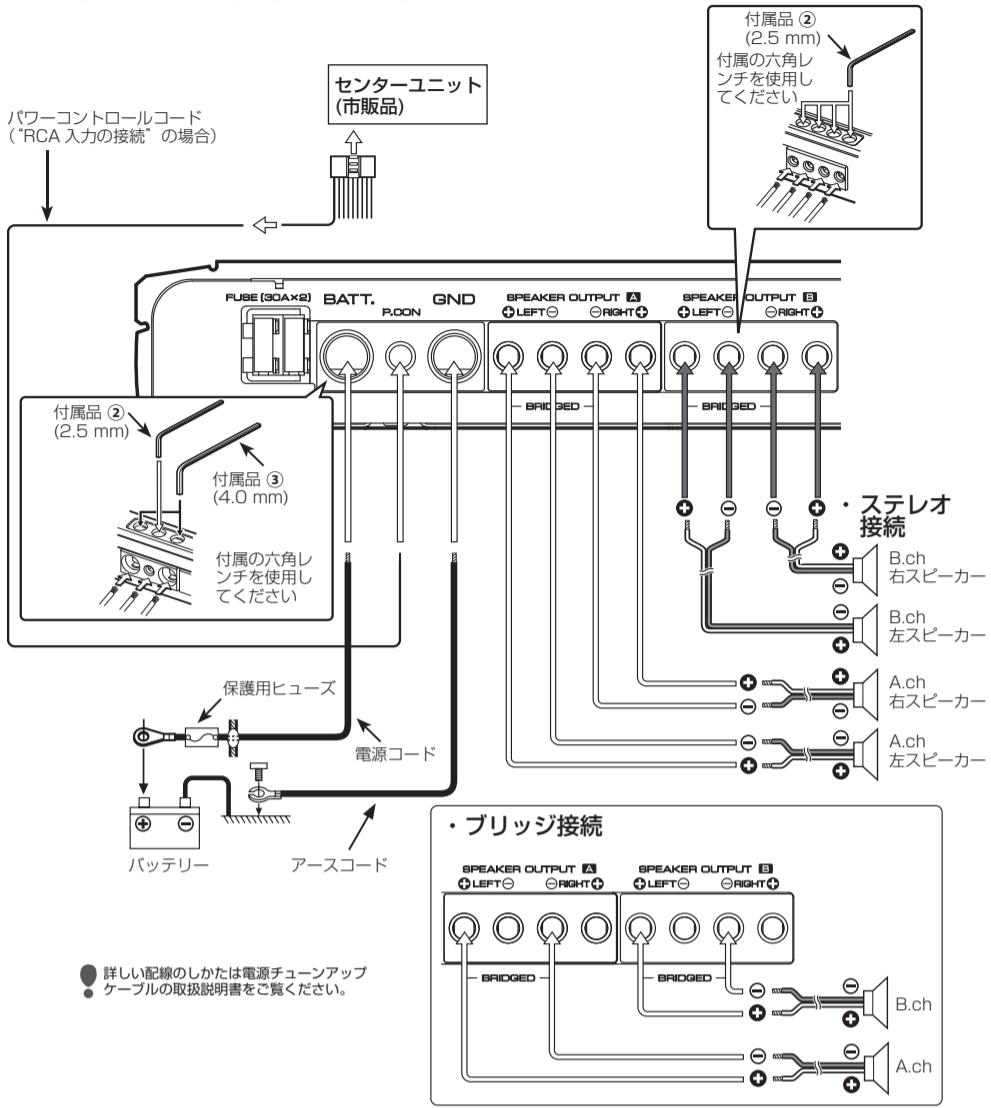
- ・アンプの出力電力よりスピーカーの定格入力値が小さいと、発煙、故障の原因になります。
- ・接続するスピーカーのインピーダンスは、2 Ω (ステレオ接続の場合) 以上、または 4 Ω (ブリッジ接続の場合) 以上のものを使用してください。
- また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと適切な接続で使用してください。



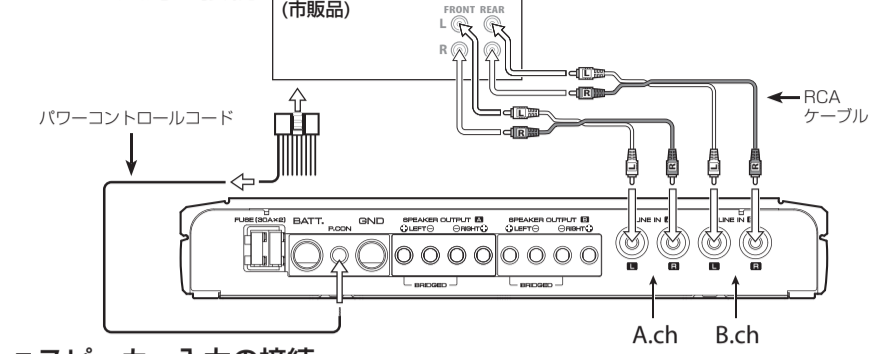
 **警告**  
アンプの出力端子からスピーカーへの接続にご注意ください。本機はハイパワーで駆動されるため、しっかり接続されていないと端子がスパークしたり火災が起こるおそれがあります。

# 接続

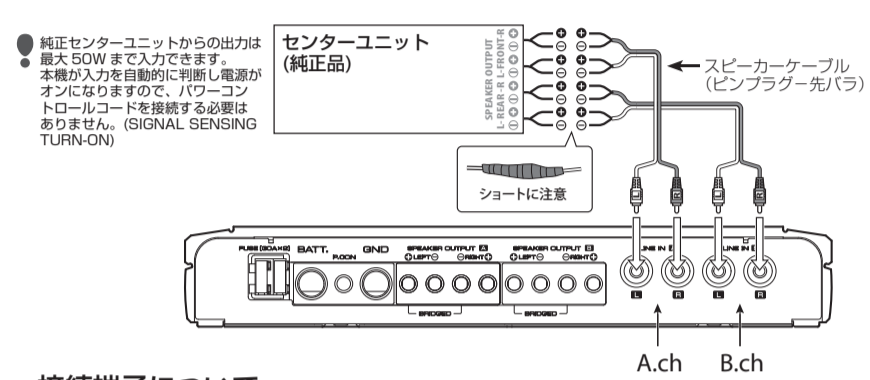
## ■電源コードと入出力コードの接続



## ■RCA入力の接続

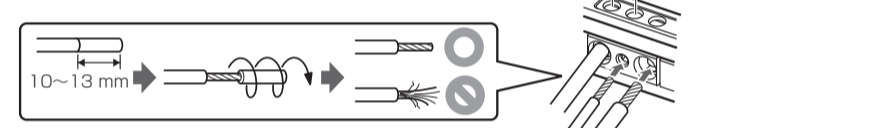


## ■スピーカー入力の接続

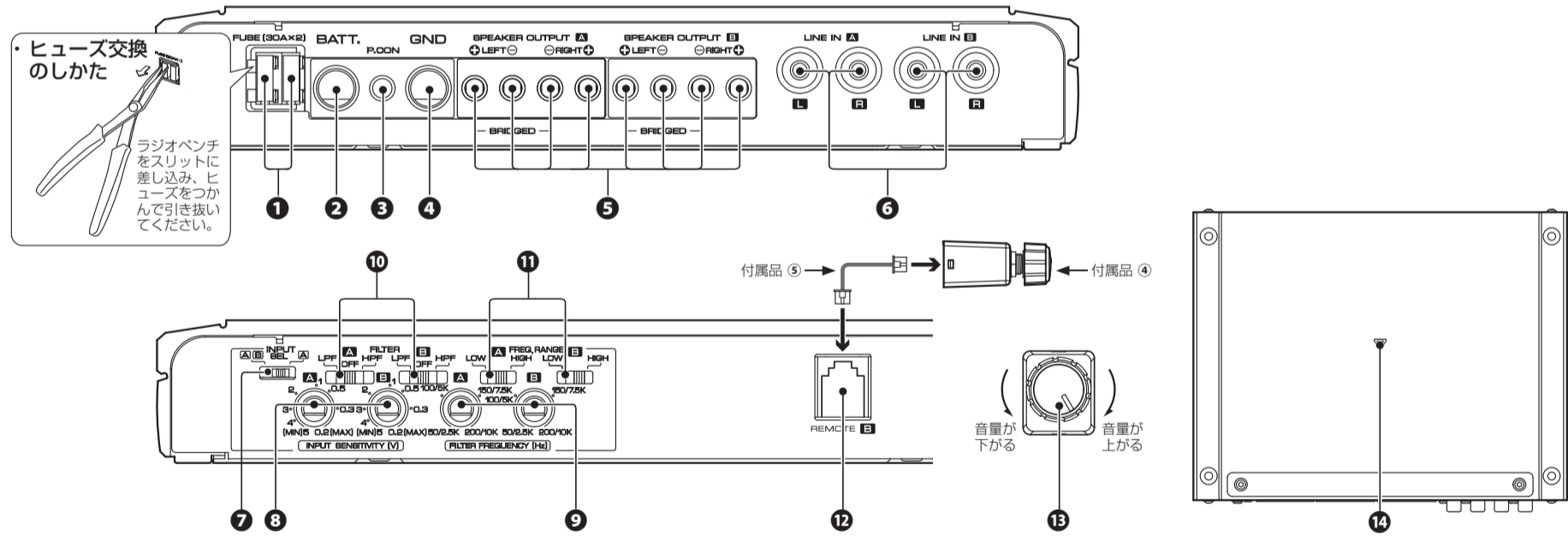


## ■接続端子について

- コードの太さ  
使用できるコードは下記の太さになります。  
電源コード、アースコード AWG 4~AWG 6  
スピーカーコード AWG 8~AWG 16
- コードの被覆をむきます  
コードの被覆 (ビニールなどの絶縁部) を 10 ~ 13 mm の長さで切り込みを入れて、被覆をねじりながら抜き取ります。
- コードを取り付けます  
付属品の六角レンチでねじをゆるめず。コードの芯線を差し込み、ねじを締め付けます。



# コントロール



本製品は2系統のステレオアンプからなる、4チャンネルアンプです。一方を“A”、もう一方を“B”とします。本製品は、以下スイッチや機能を組み合わせることで様々なシステムに対応できます。

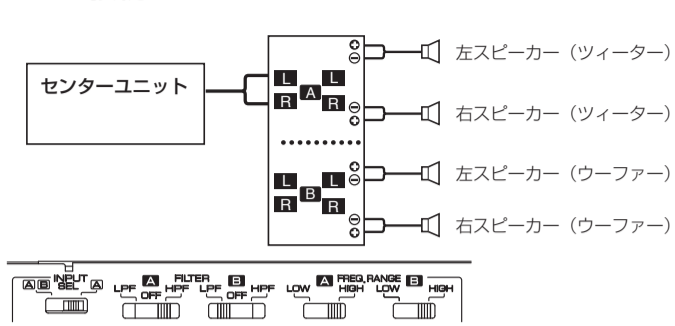
- ヒューズ [FUSE] (30A × 2)
  - バッテリー端子 [BATT.]
  - パワーコントロール端子 [P.CON]
- 本機の電源のオン/オフをコントロールします。
- アース端子 [GND]
  - スピーカー出力端子 [SPEAKER OUTPUT] (A.ch/B.ch)
- ・ステレオ接続:  
ステレオアンプとして使用したい場合は、ステレオ接続します。接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上のものを使用してください。スピーカーを複数使用の場合は、合成インピーダンスが必要、それぞれのチャンネルで2Ω以上になるようにしてください。
- ・ブリッジ接続:  
高出力のアンプとして使用したい場合は、ブリッジ接続します。左チャンネルの◎と右チャンネルの◎に接続します。接続するスピーカーのインピーダ

- ンスは4Ω以上のものを使用してください。スピーカーを複数使用する場合は、合成インピーダンスが必要4Ω以上になるようにしてください。
- ライン入力端子 [LINE IN] (A.ch/B.ch)
  - インプットセレクタースイッチ [INPUT SEL]
  - 入力感度調整つまみ [INPUT SENSITIVITY] (A.ch/B.ch)
  - フィルター周波数調整つまみ [FILTER FREQUENCY] (A.ch/B.ch)
- 本機に接続するセンターユニットのプリアウトレベルに合わせて調整します。
- プリアウトレベルの調整を行う前に、センターユニットに付属の取扱説明書の「仕様一覧」でプリアウトレベルの値を確認してください。
- フィルター周波数調整つまみ [FILTER FREQUENCY] (A.ch/B.ch)  
カットする周波数を調整します。周波数のレンジは、周波数レンジ切り替えスイッチ ⑩ で設定します。

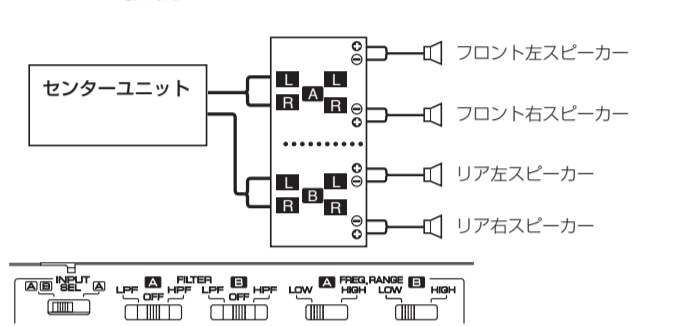
- フィルタースイッチ [FILTER] (A.ch/B.ch)  
スピーカー出力のフィルターを設定します。
- HPF (ハイパスフィルター):  
フィルター周波数調整つまみ ⑨ で設定した周波数より高い帯域を出力します。
- OFF: 全帯域を出力します。
- LPF (ローパスフィルター):  
フィルター周波数調整つまみ ⑨ で設定した周波数より低い帯域を出力します。
- 周波数レンジ切り替えスイッチ [FREQ. RANGE] (A.ch/B.ch)  
フィルター周波数のレンジを切り替えます。
- リモコン端子 [REMOTE] (B.ch)  
付属のリモコンを接続します。B.chに接続したスピーカーの音量を調整できます。
- 音量調整つまみ (リモコン)  
B.chに接続したスピーカーの音量を調整します。
- パワーインジケータ  
電源を入れたときにパワーインジケータが点灯します。

# システム例

## ■バイアンプ接続



## ■4チャンネル接続



# 故障かな?と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない (片側の音が出ない、ヒューズが切れている)	・ 入出力ケーブルが外れている。 ・ プロテクション機能が働いている。 ・ 音量が大きすぎた。 ・ スピーカーコードがショートした。	・ 入出力ケーブルの接続を確認してください。 ・ 使用上のご注意の「プロテクション機能」を参照して接続を確認してください。 ・ ヒューズを交換し、音量を少し小さくしてください。 ・ スピーカーコードを確認しショート原因を取り除いてから、ヒューズを交換して使用してください。
音が小さい、または音が大い	・ 入力感度調整つまみが正しく設定されていない。	・ 「コントロール」を参照して正しく設定してください。
音質が悪い (音が歪む)	・ スピーカーコードの◎、◎が正しく接続されていない。 ・ スピーカーコードが車両のねじりかみ込んでいる。 ・ 設定を間違えている。	・ スピーカーコードと端子の極性を正しく接続してください。 ・ スピーカーコードの配線を確認してください。 ・ 「コントロール」を参照して正しく設定してください。

# 仕様一覧

- オーディオ部
- 定格出力 (+ B = 14.4 V)
- ステレオ (4 Ω) ..... 75 W × 4 (20 Hz ~ 20 kHz, ≤ 1.0 % THD)
  - ステレオ (2 Ω) ..... 100 W × 4 (1 kHz, ≤ 1.0 % THD)
  - ブリッジ (4 Ω) ..... 200 W × 2 (1 kHz, ≤ 1.0 % THD)
  - スピーカーインピーダンス ..... 4 Ω (許容範囲 2 Ω ~ 8 Ω) (ブリッジ接続: 許容範囲 4 Ω ~ 8 Ω)
- 周波数特性 (+0, -1 dB) ..... 20 Hz ~ 40 kHz
- 入力感度 (RCA) ..... 0.2 V ~ 5.0 V S/N 比 ..... 100 dB
- 入力インピーダンス ..... 10 k Ω
- ローパスフィルター (-12 dB / oct.)
- ローレンジ ..... 50 Hz ~ 200 Hz (連続可変)
  - ハイレンジ ..... 2.5 kHz ~ 10 kHz (連続可変)
- ハイパスフィルター (-12 dB / oct.)
- ローレンジ ..... 50 Hz ~ 200 Hz (連続可変)
  - ハイレンジ ..... 2.5 kHz ~ 10 kHz (連続可変)
- 電源部
- 電源電圧 (◎アース) ..... 14.4 V (11 ~ 16 V)
- 消費電流 ..... 37 A
- 寸法・重量
- 外形寸法 (幅×高さ×奥行) ..... 220 × 35 × 169 mm
- 質量 (重さ) ..... 1.5 kg
- ※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

# 保証とアフターサービス(必ずお読みください)

## ■保証について

**保証書**  
この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読み後、大切に保管してください。

**保証期間**  
お買上げの日より**1年**です。

**■修理に関するご相談は**  
修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

●ホームページ  
http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html

●JVCケンウッドカスタマーサポートセンター  
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)  
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)  
045-450-8950 (一部IP電話など)  
受付時間などはこのページの下を参照してください。

**■修理を依頼されるときは**  
「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

**■修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。**

保証期間中は...  
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。  
本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は...  
お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様の要望により有料にて修理いたします。

**■修理に関するご相談は**  
修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

●ホームページ  
http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html

●JVCケンウッドカスタマーサポートセンター  
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)  
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)  
045-450-8950 (一部IP電話など)  
受付時間などはこのページの下を参照してください。

**補修用性能部品の保有期間**  
本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

**持込修理**  
この製品は持込修理とさせていただきます。本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

**車両からの取り外し/取り付けについて**  
修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスにお持ちください。なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

**修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)**

- 技術料:  
製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代:  
修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

**Hi-Res AUDIO** 当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にこのロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

ハイレゾ品質で音楽をお楽しみになる場合はプレーヤーからスピーカーまで全てハイレゾ製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

## 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

●商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。  
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル) / 0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル) / 045-450-8950 (一部IP電話など)  
FAX 045-450-2308  
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12  
受付時間 月曜~金曜: 9:30~18:00、土曜: 9:30~12:00、13:00~17:30 (日曜、祝日および当社休日休ませさせていただきます)  
●修理などアフターサービスについては、当社ホームページ(http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html)またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。